

北海道今金高等養護学校 R6 第 1 回学校運営協議会（コミュニティー・スクール）記録

開催日時	令和 6 年 6 月 5 日（水） 11 時 15 分 ～ 12 時 15 分	
会 場	北海道今金高等養護学校 会議室	
出席者数	11 名	4 名（事務局）
出席者名	A 北海道教育大学函館校 教授 B 今金町教育委員会 事務局長 C 今金町農業協同組合長、後援会会長 D 今金町役場 総務財政課長 E 今金町校長会 会長 一般財団法人 i・スマイル理事長 F やまとや金物店店長 C 相談支援事業所相談室ひかり相談員 H 今金町保健福祉課 保健師 I studio claynote 主宰 J 寒昇町内会 会長 飯出 広行 北海道今金高等養護学校長	教 頭 伊 東 実 総務部 内 田 義 文 教務部 山 本 拓 郎 進路指導部大 倉 正 也
内 容		記 録
1 開会の言葉	教 頭	委員の皆様並びに今金町からの多大なる御理解と御協力をいただき感謝いたします。今年度 IMAKANE FACTORY（模擬株式会社）の教育活動を中心とするカリキュラム・マネジメントの検討等を含め、令和 6 年度の学校経営方針について、忌憚のないご意見を賜りたいと考えます。 昨年度に引き続き今年もよろしくお願いいたします。 令和 6 年度の委員の紹介（自己紹介） （資料を基に令和 6 年度の学校経営計画、今金高等養護学校グラウンドデザイン、学校経営方針を説明。） 《質疑》 働き方改革において、役場でも多種多様な人がいるが、学校ではメンタルヘルスの面などはどのような状況かお聞きしたい。 幸い本校は今のところメンタルヘルスなどで休業する職員は一人もいません。 職員アンケートにグーグルフォームを使っているということで、どのように使われているのか、その辺の事をお話し頂きたい。 先生方に日頃思っていることを話してもらいたいと思い、グーグルフォームを使い、学校経営における問題点や、今後の職員のより良い働き方について等をグーグルフォームで実施しました。その結果、非常に参考になりました。その中で、私の考えと先生方の考えがほぼ一致したのが、模擬株式会社です。模擬株式会社の活動自体は良いが、全体の教育活動との関連や調整に課題があることが指摘されていて、私もそう思っていましたので、思いを強くした次第です。ですので、ここで皆さんに自信を持って提言できたらなと思っています。そういう形で、職員一人一人の意見をできるだけ聞きたいと思って、グーグルフォームを使っています。 令和 6 年度学校経営方針について御承認をいただけるか。 全員承認で異論なし。 ありがとうございます。
2 校長挨拶	校 長	
3 会長挨拶	A	
4 委任状の交付		
5 学校経営方針及び教育方針について承認	校 長	
	D	
	校 長	
	B	
	校 長	
	教 頭 全会員 校 長	

6	学校運営委員会について	教 頭	(資料を基に説明し、今年度の学校運営協議会の活動内容を確認。)
7	令和5年度卒業生の進路状況	大 倉	(資料を基に説明する。)
8	今年度の教育活動について	教 頭	資料やスライド写真等を見ながら、今年度の学校行事やこれまでの学習活動について説明。
9	質疑 応答	A	二点ほどお聞きしたい。一つ目は、学校のスタッフが若手層とベテラン層が多いという話を聞きましたが、若い先生とはどのくらいの年齢層なのか。今、教員のなり手が少ない。教育大函館校で6割くらいしか教員にならない。札幌校は教員養成課程ですけど、4割くらいしかそもそも教員採用試験は受けないのが現状の中で、いかに若い人を育てていくかが課題です。教員の資質が疑われるような学生も中にはいるが、そのような学生も現場に出たときには、やはり育てていかなければならない。ぜひ、ベテランの先生と若い先生が組んで、いかに若い先生を育てていくかについて考えて頂きたいと思います。昔の現場に比べると、教員同士の協同性が欠落しているように思います。この行事はあなたが担当なのだからあなたがやりなさいよ、というような感じです。このような状況では教育現場としては苦しいなという風に思っているので、ぜひ若い先生たちを育てていってほしいです。 二点目は文科省の「主体的・対話的で深い学び」についてですが、どのように授業で実践していくかというのを期待しています。それは、教育課程構造物の中で、各教科等横断的な指導のところで、先行研究で「協同学習」という言葉を使用しています。この協同学習は本当に大事だと思っています。障害のある子たちが障害のない子たちと一緒に社会の中で生きていくためには、この協同学習の経験が本当に大事だと思っていますので、授業改善をしていく中でぜひ成果を知りたい。
		校 長	はい、ありがとうございます。まず一点目について、30代後半から40代前半がちょっと層が薄いと考えている。20代前半から30代前半はある程度メンバーがいるので、ここを鍛え上げていきたいと思っています。少ない人材ではありますが、今こそ協同性の欠如がないようにやってもらいたいと私も訴えているところです。 二点目は、私もこの学校に来たときに、素晴らしいことをやっていると思いました。協同学習を取り入れた授業づくりというのを先行研究でやってたわけです。今も冊子で残っていますので、これをみんなで見ていこうと思っています。各教科を合わせた指導、これが結果的にカリキュラムマネジメントになるということで、できるだけ先生方に周知したいと思います。
10	校長挨拶	校 長	協同学習の実践も含め、委員の皆様や地域から多くの期待が寄せられている。その期待に応えられるよう精一杯取り組み、成果を出していきたい。
11	閉会の言葉	教 頭	

